

日本拳法部

西
日
本
学
生

男子団体

3位

西村
個人でも

一本集中!

2014年の男子1部準優勝を最後に長らく表彰台から遠ざかっていた西日本学生拳法選手権大会団体戦で、大商大が男子1部3位で表彰台に上がった。7人勝ち抜き戦である本大会だが、大商大にとって6大会連続予選リーグ敗退という鬼門の大会であった。

大事な予選リーグ初戦の相手は、昨年12月の全日本学生拳

法選手権大会の3位
決定戦で惜敗した宿
敵・関西学院大。勝
ち抜き戦がうまくは
まり、3人を残し見
事勝利を収めた。続
く大阪経済大戦では
1番手、2番手を温
存しつつも、3人残
して勝利し、男子1
部決勝トーナメント
進出を果たした。

迎えた準決勝、龍
谷大戦では大将戦ま
でもつれ込む接戦と
なるが、惜しくも決
勝進出はかなわな
かった。同志社大と

の3位決定戦にまわった大商大は、「絶対に台乗りするぞ」という熱量と気迫で挑んだ。

先鋒・東屋良介（公共2・関西福祉科学大学）が一気に3人勝ち抜き勢いづける

と、大商大の優勢が続き、三鋒・小浜守大（経済3・関西福祉科学大学）が同志社大の三将、副将を続けて沈めた。しかし、相手の大将に三鋒・中堅・三將が続けて倒れる。危うく見られたが、副將

嶋章伍（公共3・桜丘）が粘り強く攻め、前拳横打ちが決まり台乗りを果たした。また、今大会で東屋が敢闘賞を獲得した。

主将の西村洸ガブリエル（公共4・桜丘）は「出場した選手全員が練習の成果を発揮し、それぞれの課題を明確にする良い機会となった。次の選抜大会では、今回浮き彫りとなった課題に真摯に向き合い、より一層鍛錬を重ねたい」と語った。

文／青江紗花
（経営3・岡崎商業）

第25回西日本学生拳法個人選手権大会
5月25日 吹田市武道館(洗心館)

5人制三本勝負法

5人制三本勝負法

昨年男子の部3位を勝ち取った日本拳法全国大学選抜選手権大会団体戦。大商大は「今年こそは」と強い気持ちで挑んだ。

なげなく勝利し、準決勝へと駒を進めた。準決勝の相手は宿敵・関西大。先鋒と次鋒が立て続けに敗れ後がない大商大だったが、中堅・東屋が1勝をもぎ取り、味方に勢いをつけた。

本大会は5人制3分間三本勝負法で行われる。1回戦、神戸大と対戦した大商大は、先鋒と中堅が敗れ危うく見られたが、副将・畑中宏規（公共4・桜丘）、大將・西村が2-0で勝ち切り、3勝2敗で下した。そして、2回戦、3回戦は危

副将戦は、相手のエースと対決。西村は序盤、粘って押し勝っていたが、一本先取されて崩され気づけば敗北。ここで勝負はついたが、最後の大将戦で畑中は果敢に攻め、わずかに開始5秒で面突きが決まった。その後取り返されるも、最後は

商大は2勝3敗で準決勝敗退となった。

その後、息つく間もなく龍谷大との3位決定戦が始まったが、集中力が途切れてしまった大商大は、1勝4敗で敗れた。

主将の西村は「準決勝で負けたのはもったいなかった。自分が勝てば勝てて受け止め次を見据えていた。」

12月の全日本学生拳法選手権大会では、7人制3分間三本勝負法となる。体格差を物ともせず全員が全力で戦う大商大日本拳法部からますます目が離せない。

文／木村龍馬
(公共2・鹿島学園)

第33号	
4面	1面
ウエイトリフティング部 空手道部	日本拳法部
他	2・3面
	春季リーグ戦・ 入替戦特集

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

日本拳法第38回全国大学選抜選手権大会
6月22日 横浜武道館アリーナ

「第28回西日本学生拳法選手権大会」
男子1部 **3位**
敢闘賞 東屋 良介(公共2・関西福祉科学大学)

「第25回西日本学生拳法個人選手権大会」
男子参段以下3部
4位 東屋 良介(公共2・関西福祉科学大学)
ベスト8 嶋 章伍(公共3・桜江)
ベスト8 常川 龍人(公共2・大阪商業大学堺)
男子二段部
ベスト8 荻野 亮(経済3・大阪)
男子初段部
3位 西村 洸ガブリエル(公共4・桜江)
4位 山田 晋吾(公共2・関西福祉科学大学)

「日本拳法第38回全国大学選抜選手権大会」
男子の部 4位

全国
大学
選抜
4位
男子団体

次こそ

リーグ史上最長7季連続28回目



最優秀選手賞
ベストナイン(投手)
鈴木 豪太(公共4・東海大学付属静岡岡翔洋)
ベストナイン(三塁手)
権田 結輝(経営1・大垣日本大学)

関西六大学野球春季リーグ戦
4月5日～5月20日 GOSANDO南港野球場(南港中央野球場)他

2025! 春季リーグ戦・入替戦特集

9勝2敗の勝ち点4で大商大が関西六大学野球春季リーグ戦で最多連続優勝記録を更新する7季連続の優勝を果した。今季は、大商大が都産業大・龍谷大の3強が最終節まで混戦の優勝争いを繰り広げ、手に汗握る展開となった。開幕から4連勝と勢いに乗った大商大だが、第4節の龍谷大戦で勝ち点を落としかつ、一時は自力優勝が消滅した。しかし、その後の神戸学院大戦、最終節の大阪経済大戦で怒涛の4連勝。最終節第2戦でフ口注目のサイド右腕・鈴木豪太(公共4・東海大学付属静岡岡翔洋)が9回5安打1失点、完封勝利した前日の第1戦に続く完投で、チームを28回目(リーグ含む)の優勝に導いた。鈴木にとって野球人生で初となる文/谷川あゆな(経営3・伊賀白鳳)

互いに鼓舞し合い、チームを盛り上げる。そして、迎えた第4節、大阪教育大戦では逆転の末に2-1で勝利。この勝利から勢いがつき、大商大の快進撃が始まった。3連勝の後、第7節、神戸学院大には引き分けたものの、さらに4連勝を収め、7勝3敗1分の2位の近畿大とは、勝ち点で失点差で並んだが大商大が総得点差で上回り、2部リーグ前期1位に立った。前期首位で折り返した大商大だが、この結果を振り返って川田は「他のチームの試合結果を意識せず、まずは自分たちが目の前の試合に勝つことに集中しよう」と、チームで共有して試合に挑んだという。また、常に目の前の試合に全力で向かい、勝ち点を積み重ねていきな(川田と語り、後期)



サッカー部
へ抱負を述べた。大商大がこれまで後期でも好調をキープし、通年で2位以上の順位に上げれば優勝が望める。この勝利は、1部2部入替戦へ進む、2部12チーム中、上位4チームの力に拮抗している。後期リーグの、さらに4連勝を収め、7勝3敗1分の2位の近畿大とは、勝ち点で失点差で並んだが大商大が総得点差で上回り、2部リーグ前期1位に立った。前期首位で折り返した大商大だが、この結果を振り返って川田は「他のチームの試合結果を意識せず、まずは自分たちが目の前の試合に勝つことに集中しよう」と、チームで共有して試合に挑んだという。また、常に目の前の試合に全力で向かい、勝ち点を積み重ねていきな(川田と語り、後期)

2日連続完投となった。高瀬義和監督代行は他の投手を先発起用する予定だったものの、鈴木自ら試合当日の朝に先発を直訴。自分では低学年の頃から経験させてもらって、中継ぎの難しさも知っている。自分が後ろに控えるより万全な状態に投じられる他の投手を残した方がよいという考えがあった。個人賞には、気迫の投球を見せた鈴木が最優秀選手賞および投手のベストナインに選ばれた。また、期待の大型新人・権田結輝(経営1・大垣日本大学)が三塁手のベストナインに初選出となった。文/谷川あゆな(経営3・伊賀白鳳)



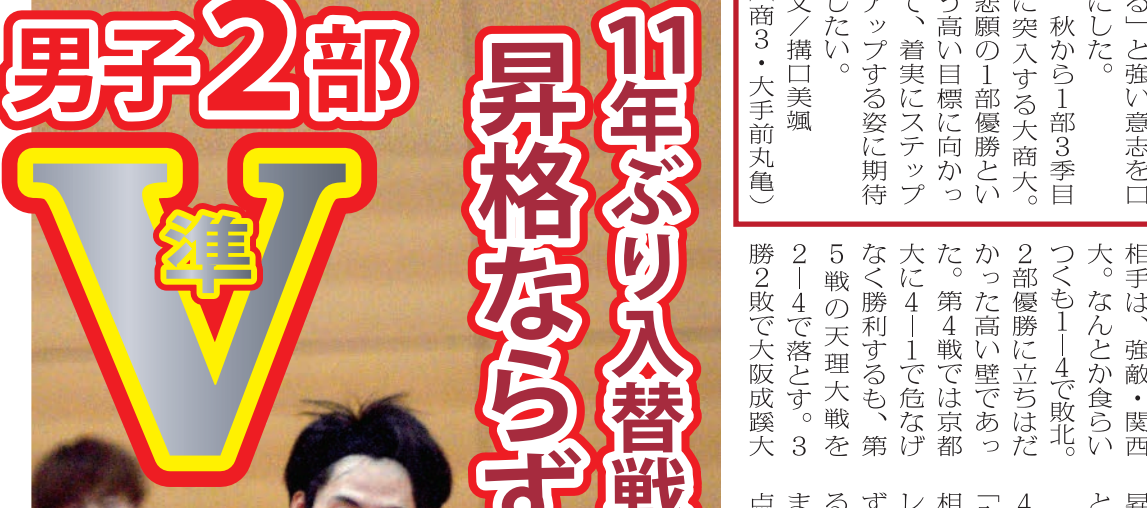
バレーボール部
4月、関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦が開催された。大商大は、昨秋の秋季リーグ戦で開幕し、男子1部残留を果した大商大は、1部2季目となる戦いに挑んだ。大事な初戦の相手は、昨秋1位、昨秋2位という強豪・天理大。主将の大須賀匠(経営4・浜松日体)が、今春で最も印象に残った試合と答えた一戦だ。挑戦者の気持ちで序盤から攻めの姿勢を貫いた大商大は、第1セット、天理大から25-12で先にリードを奪った。第2セット目以降も粘りと意地を見せ、なんとか強豪校相手に食らいついても、底力に圧倒され、結果は1-3と逆転され敗北。大須賀は「天



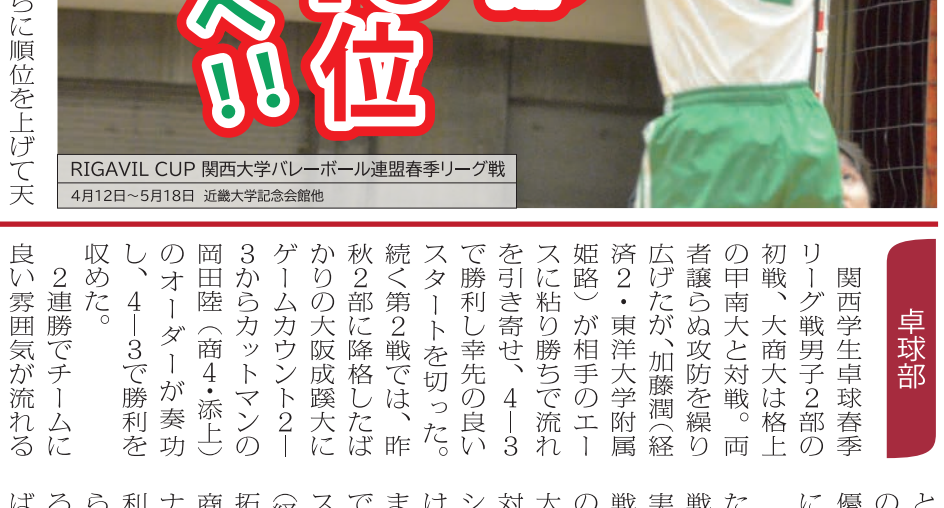
ボクシング部
昨年、1部リーグ優勝を果たした関西の関西学生ボクシングリーグ戦では激闘の末、4勝1敗の勝ち点30で準優勝となった。優勝した同志社大と勝敗差、勝



ち点でもと並んでいたものの、KO勝ち・RSC勝ちの差で敗れ、あと一歩及ばなかった。わずかにポイント差に泣いた主将の湯上真乃介(公共4・科学技術)は「正直、悔しい気持ちだが、一番大きい」と振り返る。今季はエースのけや体調不良者による不戦敗もあり、万全な状態ではなかったが、選手たちは「自分ができるだけいい試合を覚悟を決めてリベンジに上がり、仲間の分まで果敢に戦う姿勢を見せた。正念場となった第3戦、同志社大との一戦、均衡が続く2勝3敗で回ってきたライオン・ウェルター級の主将・湯上は、1ラウンド開始1分、相手の衝突で流血してしまし続行不可能になるも判定で勝利を収めた。続くルーキー・杉山



男子2部
11年ぶり入替戦も昇格ならず



卓球部
関西学生卓球春季リーグ戦男子2部の初戦、大商大は格上の甲南大と対戦。両者鋭い攻防を繰り広げたが、加藤潤(経済2・東洋大学附属姫路)が相手のエースに粘り勝ちで流れを引き寄せ、4-3で勝利し、幸先の良いスタートを切った。続く第2戦では、昨秋2部に降格したばかりの大阪成蹊大にゲームカウント2-3からカットマンの岡田陸(商4・添上)のオーダーが奏功し、4-3で勝利を収めた。2連勝でチームに良い雰囲気の流れの中、中では迎えた第3戦の相手は、強敵・関西大。なんと食らいつづも1-4で敗北。2部優勝に立ち上がった高い壁であった。第4戦では京都大に4-1で危なげなく勝利すると、第5戦の天理大戦も、2-1で落とす。3勝2敗で大阪成蹊大



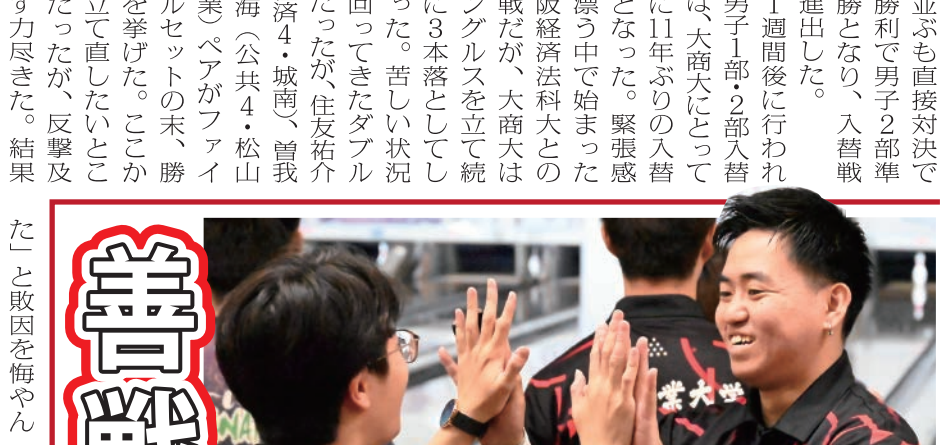
1部リーグ技能賞
階級賞(ウェルター級) 杉山 律希(公共1・荷摩)
階級賞(ミドル級) 川村 隆(公共3・札幌工業)



男子1部
残留



男子2部
11年ぶり入替戦も昇格ならず



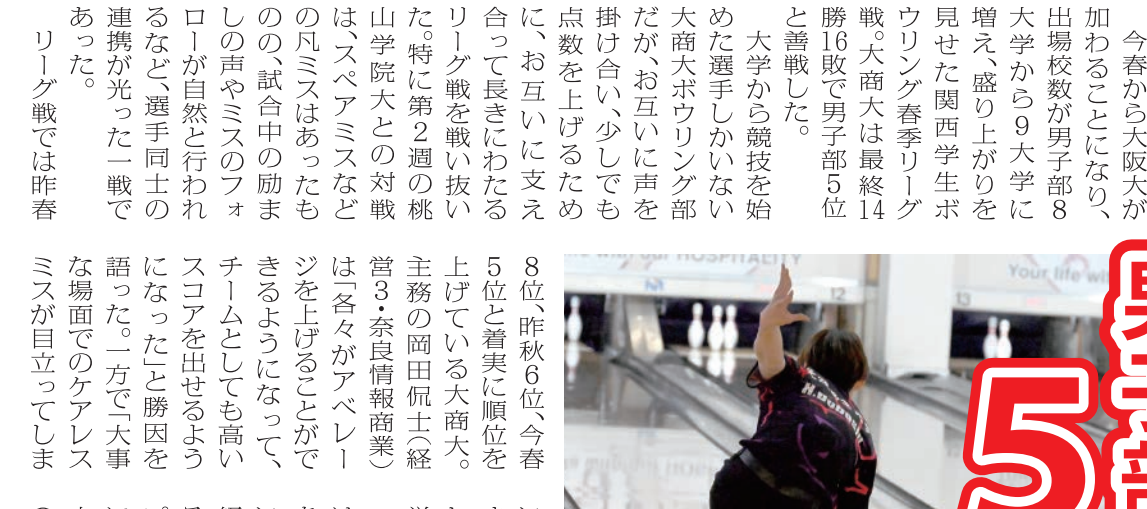
卓球部
関西学生卓球春季リーグ戦男子2部の初戦、大商大は格上の甲南大と対戦。両者鋭い攻防を繰り広げたが、加藤潤(経済2・東洋大学附属姫路)が相手のエースに粘り勝ちで流れを引き寄せ、4-3で勝利し、幸先の良いスタートを切った。続く第2戦では、昨秋2部に降格したばかりの大阪成蹊大にゲームカウント2-3からカットマンの岡田陸(商4・添上)のオーダーが奏功し、4-3で勝利を収めた。2連勝でチームに良い雰囲気の流れの中、中では迎えた第3戦の相手は、強敵・関西大。なんと食らいつづも1-4で敗北。2部優勝に立ち上がった高い壁であった。第4戦では京都大に4-1で危なげなく勝利すると、第5戦の天理大戦も、2-1で落とす。3勝2敗で大阪成蹊大



1番手2番手のダブルスで連敗を喫せぬ土壇場、悪い流れを断ち切ったのは、シングルの西川陽太郎(経済2・高田)が、昨秋の入替戦でチームを勝利に導いた。初日は関西学院大、関西外国語大、立命館大の3校と対戦。善戦するも結果は3連敗で負け越してしまっ。しかし、一戦一戦全力を尽くして戦う選手たちの姿は重たい空気を感ぜさせず、全員が練習の成果を出し切れれば必ず勝つと信じて、強い気持ちを持って挑んできた。2日目の天理大戦では、大商大が1本先取するも、3本取られ敗北。続く同志社大にも敗れ、1部のレベルの高さを痛感した。5戦全敗の男子1部6位で終えた大商大は、入替戦での1部残留に望みを託した。桃山学院大との入替戦「ブレジャー」がかかる大商大は、



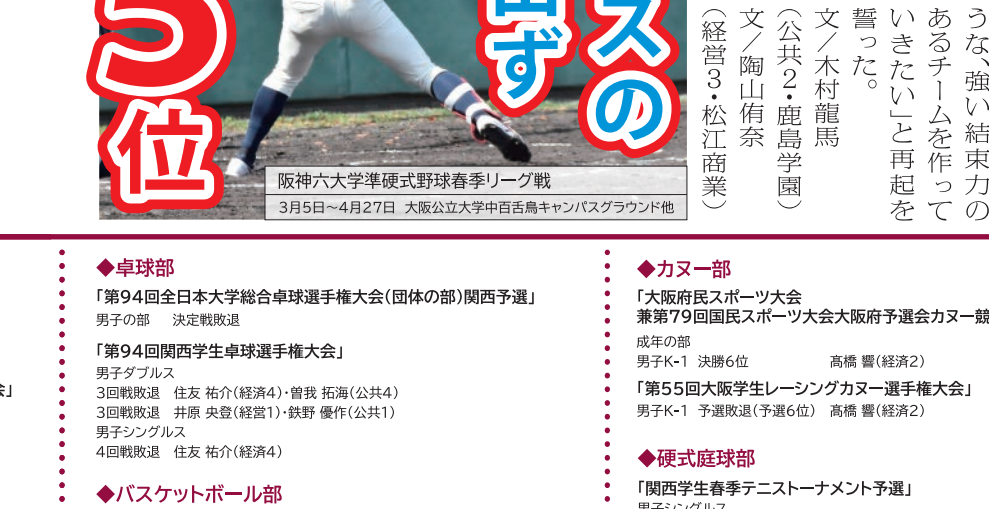
男子1部
残留



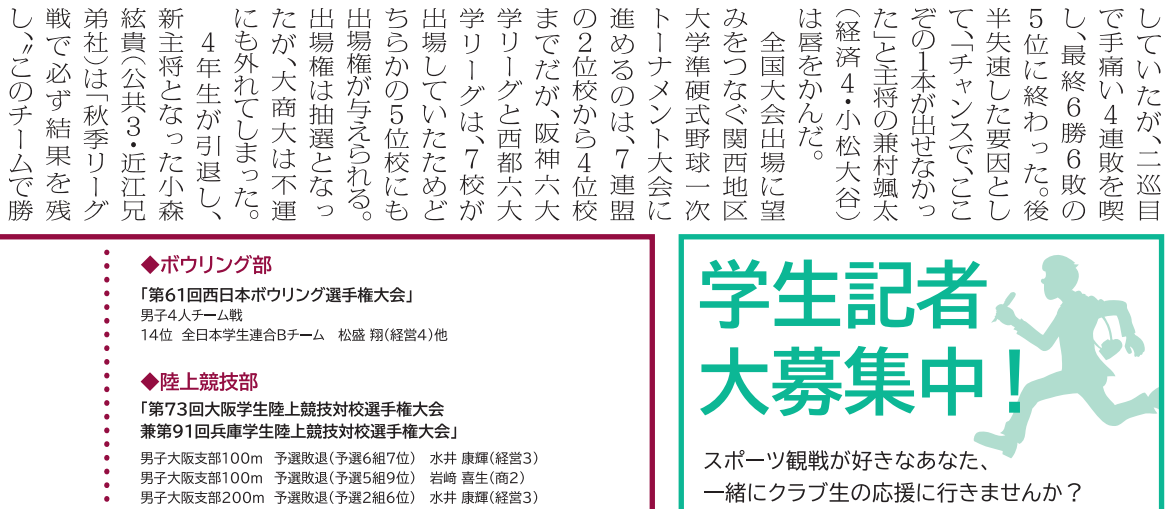
男子2部
11年ぶり入替戦も昇格ならず



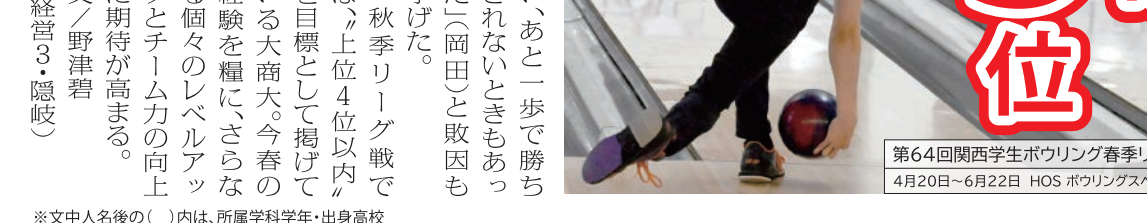
卓球部
関西学生卓球春季リーグ戦男子2部の初戦、大商大は格上の甲南大と対戦。両者鋭い攻防を繰り広げたが、加藤潤(経済2・東洋大学附属姫路)が相手のエースに粘り勝ちで流れを引き寄せ、4-3で勝利し、幸先の良いスタートを切った。続く第2戦では、昨秋2部に降格したばかりの大阪成蹊大にゲームカウント2-3からカットマンの岡田陸(商4・添上)のオーダーが奏功し、4-3で勝利を収めた。2連勝でチームに良い雰囲気の流れの中、中では迎えた第3戦の相手は、強敵・関西大。なんと食らいつづも1-4で敗北。2部優勝に立ち上がった高い壁であった。第4戦では京都大に4-1で危なげなく勝利すると、第5戦の天理大戦も、2-1で落とす。3勝2敗で大阪成蹊大



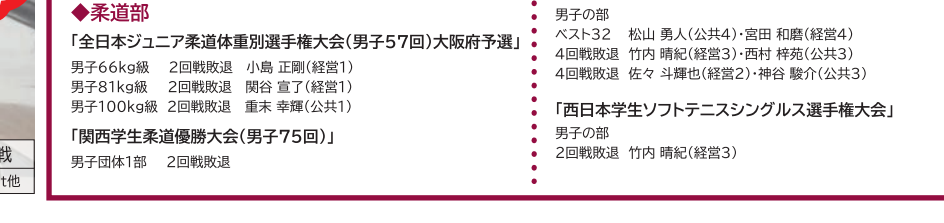
1番手2番手のダブルスで連敗を喫せぬ土壇場、悪い流れを断ち切ったのは、シングルの西川陽太郎(経済2・高田)が、昨秋の入替戦でチームを勝利に導いた。初日は関西学院大、関西外国語大、立命館大の3校と対戦。善戦するも結果は3連敗で負け越してしまっ。しかし、一戦一戦全力を尽くして戦う選手たちの姿は重たい空気を感ぜさせず、全員が練習の成果を出し切れれば必ず勝つと信じて、強い気持ちを持って挑んできた。2日目の天理大戦では、大商大が1本先取するも、3本取られ敗北。続く同志社大にも敗れ、1部のレベルの高さを痛感した。5戦全敗の男子1部6位で終えた大商大は、入替戦での1部残留に望みを託した。桃山学院大との入替戦「ブレジャー」がかかる大商大は、



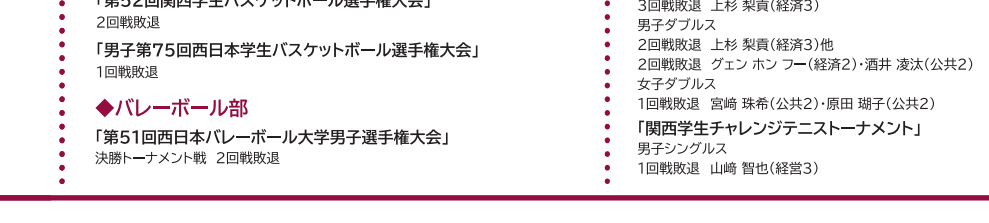
男子1部
残留



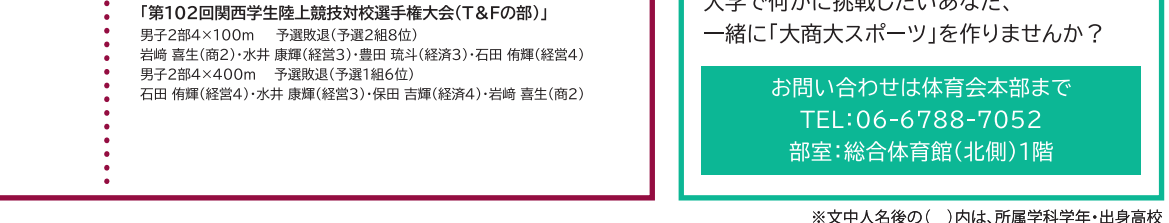
男子2部
11年ぶり入替戦も昇格ならず



卓球部
関西学生卓球春季リーグ戦男子2部の初戦、大商大は格上の甲南大と対戦。両者鋭い攻防を繰り広げたが、加藤潤(経済2・東洋大学附属姫路)が相手のエースに粘り勝ちで流れを引き寄せ、4-3で勝利し、幸先の良いスタートを切った。続く第2戦では、昨秋2部に降格したばかりの大阪成蹊大にゲームカウント2-3からカットマンの岡田陸(商4・添上)のオーダーが奏功し、4-3で勝利を収めた。2連勝でチームに良い雰囲気の流れの中、中では迎えた第3戦の相手は、強敵・関西大。なんと食らいつづも1-4で敗北。2部優勝に立ち上がった高い壁であった。第4戦では京都大に4-1で危なげなく勝利すると、第5戦の天理大戦も、2-1で落とす。3勝2敗で大阪成蹊大



1番手2番手のダブルスで連敗を喫せぬ土壇場、悪い流れを断ち切ったのは、シングルの西川陽太郎(経済2・高田)が、昨秋の入替戦でチームを勝利に導いた。初日は関西学院大、関西外国語大、立命館大の3校と対戦。善戦するも結果は3連敗で負け越してしまっ。しかし、一戦一戦全力を尽くして戦う選手たちの姿は重たい空気を感ぜさせず、全員が練習の成果を出し切れれば必ず勝つと信じて、強い気持ちを持って挑んできた。2日目の天理大戦では、大商大が1本先取するも、3本取られ敗北。続く同志社大にも敗れ、1部のレベルの高さを痛感した。5戦全敗の男子1部6位で終えた大商大は、入替戦での1部残留に望みを託した。桃山学院大との入替戦「ブレジャー」がかかる大商大は、



男子1部
残留

令和7年度
体育会系26クラブ
スローガン決定!!

切磋琢磨

believe and respect

大商大体育会構成員は「同じ目標に向かって頑張る仲間と互いに競い合い、助け合って高みを目指す」ことを宣言します。一人ではなく仲間とともに成長し、切磋琢磨しながら挑戦し続けます。そして「たゆまぬ努力を続けてきた自分を信じ、チームメイトを信じてプレーしよう」と対戦相手にも感謝と尊敬の気持ちを忘れずに日々精進しようという思いを「believe and respect」と表現しました。

ウエイトリフティング部
4月に行われた関西学生ウエイトリフティング選手権大会(女子)。71kg級で糟谷かな(公共2・柴田)が昨大会の無

念を晴らして準優勝を収めた。スナッチでは自己ベストを2kg更新して、トータル161kgに記録を伸ばしうれしい反面、1位の選手が大

好記録!!

佐藤

杉谷

関西
学生
選抜

第40回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会
4月12日 バイコム総合体育館(尼崎市記念公園総合体育館)

「第40回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」
67kg級 優勝 佐藤 颯紀(経営3・仙台大学附属明成)
89kg級 優勝 杉谷 優太(公共4・星槎国際)
+109kg級 準優勝 大内 皓太(公共4・柴田)

「第72回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(女子)」
71kg級 準優勝 糟谷 かな(公共2・柴田)

「第71回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」
男子67kg級 8位 佐藤 颯紀(経営3・仙台大学附属明成)
男子89kg級 5位 杉谷 優太(公共4・星槎国際)
女子49kg級 4位 山口 桃花(公共4・舞子)
女子71kg級 7位 糟谷 かな(公共2・柴田)

「第64回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」
団体 8位

「第24回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会」
団体 12位

第72回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(女子)
4月12日 バイコム総合体育館(尼崎市記念公園総合体育館)

糟谷

準

関西
学生
女子

トータル275kgという安定のパフォーマンスで優勝となった。杉谷は同大会の89kg級で1年次、3年次にも優勝。2年次には96kg級で優勝しており、関西では敵なしだ。「調子が悪い中でも安定した記録を出すことができてよかった(杉谷)と安堵した。

選手一人一人が一本に一生懸命取り組み、これまでの練習の成果が発揮できた大会となった。己に打ち勝ちベストを尽くす姿勢がさらに記録を押し上げるに違いない。

文/石田真大(経営2・河南)

拳闘関西学生3位

平山

小峰



第58回関西学生空手道個人選手権大会

4月29日 Life partner Arena(兵庫県立総合体育館)

「第58回関西学生空手道個人選手権大会」
男子個人組手競技-60kg級 3位 小峰 斗亜(経営1・小松大谷)
男子個人組手競技-67kg級 ベスト8 北沢 広行(経営2・浪速)
男子個人組手競技+84kg級 3位 平山 楽優琉(経営2・浪速)
女子個人組手競技-61kg級 ベスト8 百田 美秋(公共1・京都精華学園)

「第62回西日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手競技 ベスト16
女子団体組手競技 ベスト16

「第69回全日本学生空手道選手権大会」
Division I 2回戦敗退 平山 楽優琉(経営2・浪速)
Division I 2回戦敗退 小峰 斗亜(経営1・小松大谷)
Division II 2回戦敗退 村山 花美(商4・大阪芸芸)
Division II 2回戦敗退 清水 藍(公共2・東大阪大学敬愛)
Division II 2回戦敗退 百田 美秋(公共1・京都精華学園)

Q:部活動を大学で始めてよかったと思うことはありましたか?
合:他の大学の合気道部とのつながりができて、交流の幅が増えたことです。
陸:高校2年生の冬に剣道を切ったまま上競技ができなかったのが心残りでした。大学でまた始められてとてもうれしいです。

途中入部大歓迎のことです!興味を持った方は、ぜひ一緒に部活動を盛り上げましょう!

「第74回御厨祭~Maple tree~」を開催
日時/令和7年10月25日(土)・26日(日)
場所/大商大キャンパス全域
どなたでもご参加いただけます!
時間・プログラムなどの詳細はこちらから→



「令和7年度 第55回覇業交歓会」を開催
日時/令和7年10月24日(金)12:00~13:00
場所/大商大ユニバーシティホール蒼天
令和6年10月から令和7年9月末までの戦績優秀なクラブを表彰します。皆さま、ぜひご参集ください。



大阪商業大学
課外活動
@oucspportscenter



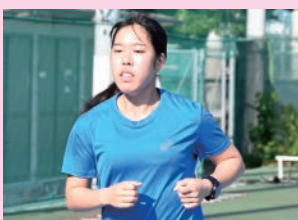
大阪商業大学
体育会本部
@taiikukaihonbu

たった一人で伝統ある合気道部を復活に導いた女子選手と、周りは全員男子選手、それでも強く強い意志を持って入部した陸上競技部の紅一点の女子選手で対談してみました!

取材・文/陶山侑奈(経営3・松江商業)



Q:部員の中で唯一の女子選手として、何か不安なことはありましたか?
合:まず部員が誰もおらず、休部状態から部活動を再開できるの不安でした。
陸:基本的に中距離走は個人練習なので特に不安はなかったです。
Q:今年の目標を教えてください。
合:1年に数回しかない昇段試験で、「段」に上がりたい。
陸:10月にある種目別の大会に標準記録を突破して出場したい。



陸:高校2年生の冬に剣道を切ったまま上競技ができなかったのが心残りでした。大学でまた始められてとてもうれしいです。

復活×紅一点

女子選手

初対談!!

合気道部

陸上競技部

佛 爽菜
(経営2・慶風)

藤次 真愛
(公共1・高円芸術)

我楽多

▼今季も複数の競技会場に行き、試合にプレッシャーを感じ、試合の熱気を肌で感じ、目標に向かって頑張る選手は本当に素晴らしいと感じました。私自身も大商大の選手を応援したいと思って、より良い成績を残すために全力でサポートしたいと思います。(溝口美穂・商3)

▼今回初めての撮影と原稿作成でボクシングを担当しました。私は高校生の時、野球部だったのですが、野球部だったのがスポーツの厳しさを知っているからこそ、選手の一生懸命な姿に感動した。応援に行く選手や監督にすぐ喜んでいただけたので、選手のモチベーションが上がるのを願っています。

(中島康希・経済1)
▼今季に当たったことのない、初めてのウエイトリフティングという競技で初めて撮影を担当した。選手のひたむきな姿を目の当たりにし、スポーツの新たな魅力に気づかされた。体育会本部に所属しているからこそできるこの貴重な体験を大切に、今後も一生懸命部活動に取り組みたい。

(小泉ゆき・経営1)
▼初の撮影が空手道部だったが、試合を見るのも初めてだった。選手一人一人から強い気持を感じ、仲間からの応援も素敵だった。これからも大商大スポーツ新聞を通して、選手たちの成長を伝えていきたい。

(浅田愛華・商1)

大阪商業大学
学生支援課 体育館事務室
共同精版印刷株式会社